

八尾市産業振興会議 第2回本体会議

2026/9/28 15:00～



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City

次 第

1. 開 会

魅力創造部長 挨拶（2分）

2. チェックイン

3. 第1回の振り返り

4. グループワーク

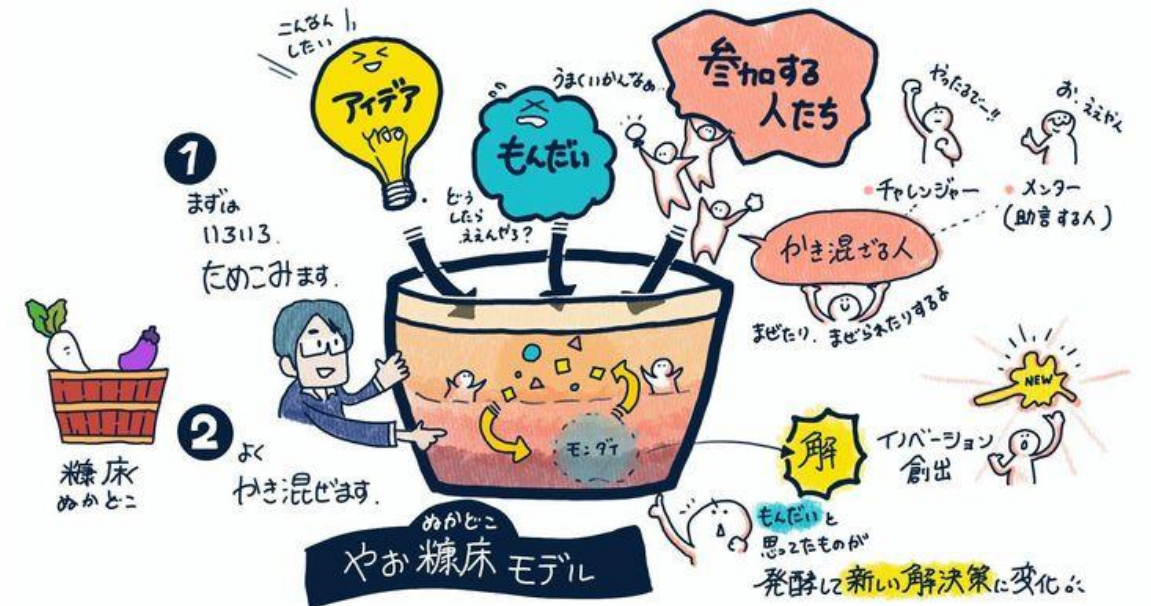
5. 検討部会への付託内容の共有

検討部会委員の選任

6. 閉 会

産業政策課長 挨拶（2分）





(3)第1回の振り返り



第1回 アイデア

①-2
10年を振り返って
どんなことを感じた？

気温の上がりも異常

温暖化が
進んでいる
(セミオキの報告)

生物でも
朝しか
ない

矛盾を
折ッ曲い
どうしてくの？

野生動物の
活動エリアが
変わってきた

IT

AI
車一つに...

副業は
コンサル
減った

コンサル
減った

オンライン
イのつなごう
再評価

木ブツ
突展

でも...リアルは
大事

便利

でも便利
に...

若者へ
お返し
の動き

若者への
お返し
の動き

何を商売
していいの
か

今「こ」

と見ているとか
異いとおりにいかん

仕組みが
商売に

733のかも

と「お」で
「お」が
「お」

偶然性

思っても
まじわる

BroB

昔

今

カスハラ
(B.B. B.B.C
v.s. B.B.)

優秀な人材が
都市部へ流出

BroB

BroC

仕事
が変わっている

働き方改革

テレワーク
のソフト

10年前、こうだと思ってた
実際の10年よ？

② 印象的だったことは？
もっと知りたい、考えたい
と思ったことは何ですか？

第1回 アイデア



第1回 アイデア

Aグループ

人口・外国人・八尾の都市像

- 生産年齢人口が減少している。
- 外国人労働者は、予想していたほど増えていないのではないか。
- 「もっと外国人が増えると思っていた」という声があった。
- 八尾はベッドタウン化しているのではないか。
- 地域や校区によって状況に違いがある。
- 八尾空港は、もっと活用されと思っていた。
- 八尾空港を、空飛ぶクルマのバーティポートなどに活用できないか。

学校・教育・子ども

- 子どもの数が減少している。
- 学校の統廃合は、予想していたほど進んでいない。
- 学校や教育が一律ではなく、個別化しているのではないか。
- 校区によって教育環境に差がある。
- 教育や学校に十分なお金が回っていない。
- 教育費も伸び悩んでいる。
- 子どもの減少によって、学校や教員の数も減っていくのではないか。
- 子ども家庭支援、福祉支援、給食無償化なども話題になった。

コロナ禍の影響

- コロナ禍によるマスク生活は、10年前には想像していなかった。
- コロナによって失われ、まだ取り戻せていないものがある。
- 学校生活や子どもの経験にも、取り戻せない影響が残っている。

高齢化・介護

- 元気な高齢者は増えているのか。
- 介護を必要とする年齢や、介護のあり方は変わったのか。
- 介護を取り巻く環境は変わったように見えるが、本質的にはあまり変わっていないのではないか。
- 高齢者施設などは、予想したほど整備されていないのではないか。

円安・物価・事業環境

- 円安は予想以上に進んだ。
- 1ドル100円程度から、170円近い水準まで変化したという感覚がある。
- 資材価格、材料価格が上昇した。
- 原材料価格の上昇と、販売価格や料金が連動していない。
- 統計上の数字と現場の実感に違いがある。
- 物価や資材価格は、以前の「ノーマル」には戻らないのではないか。

第1回 アイデア

Bグループ

AI・IT・コンサルタント

- AIは一気に進展した。
- IT化が急速に進んだ。
- コンサルタント業が注目され、憧れられる仕事になった。
- 一方で、今後はコンサルタントの仕事が減少する可能性もある。
- AIやITが進む中で、仕事の中身や求められる能力が変わっている。

オンラインとリアルな場

- オンライン化が発展し、便利になった。
- オンラインだけでは伝わりにくいものもある。
- オフラインでのつながりが、改めて評価されている。
- リアルな場で人と会うことの価値が見直されている。
- オンライン化によって、偶然の出会いや寄り道が減ったのではないか。
- 飛び込みや偶然性から、思いもよらないものが生まれる。
- 「セレンディピティ」を残すことが大切ではないか。

商業・小規模店舗

- 小規模な店舗が増えてきた。
- 商売や店舗の形が変化している。
- これから何を商売にしていけばよいのか分からない。
- これまで仕事とは考えられていなかったことが、商売になる可能性もある。
- 現在見えていることと、実際の未来が思いどおりにつながるとは限らない。

働き方と人材

- 働き方改革が進んだ。
- 何でも「ハラスメント」と捉えられるようになった。
- カスタマーハラスメントが、BtoCだけでなくBtoBでも課題になっている。
- ブルーワーカーへの関心や必要性が高まっている。
- 優秀な人材が都市部へ流出している。
- 働く年齢の区切りが変わってきている。
- 高齢になっても働き続ける人が増えている。
- 働く動機や、仕事に求めるものも変化している。
- 便利さだけでなく、アナログな方法も必要ではないか。

気候変動・自然環境

- 気温が上昇し、異常な暑さになっている。
- 温暖化が進んでいる。
- セミが朝しか鳴かないなど、生き物の行動が変化している。
- 野生生物の活動エリアが変わってきた。
- 農業や稲作と気候変動を、どのように折り合わせていくのか。
- 気候や自然の変化によって、これまでの商売が続けられなくなる可能性がある。

第1回 アイデア

Cグループ

働き手不足と働き方の多様化

- 働き手が少なくなっている。
- フリーランスや起業など、働き方が多様化した。
- 一つの会社に勤め続ける以外の働き方が増えている。
- 人手不足に対し、企業や地域がどう対応するのか。
- 外国人が地域や職場に増えていくことも想定する必要がある。

AIと人間の価値

- AIが進む中で、人間の価値とは何か。
- 感情や情緒は、人間にしか扱えないものではないか。
- 人間にしかできない仕事とは何か。
- アートや文化、感情を扱う仕事の価値が高まる可能性がある。
- 効率や合理性だけでは測れないものを、どのように残すか。

日本の国力とグローバル化

- 日本の国力が低下しているのではないか。
- 10年前に想定したグローバル化とは、違う方向に進んでいる。
- 「グローバル化の逆回転」が起きているのではないか。
- 国境を越えた移動や取引が進む一方、分断や国内回帰も起きている。
- 世界情勢の変化に対応するため、適応力が必要である。
- 日本の技術力や優秀さだけでは、成果につながらない可能性がある。
- 日本の市場だけでなく、世界へ出て売っていくことが必要になる。

日本・八尾ならではの価値

- 日本独自のものは、海外で価値が高まる。
- 盆栽、和牛、抹茶など、日本文化を生かしたビジネスが考えられる。
- 伝統文化を、ビジネスとして捉え直せないか。
- 日本の技術と海外の文化を組み合わせることで、新しい価値が生まれる。
- 歯ブラシや口腔ケアなど、八尾の技術を世界市場につなげられないか。
- 日本の中では当たり前の技術や商品が、海外では高く評価される可能性がある。

3つのカテゴリーに分けてみました↓

- ・ AIと非AI
- ・ 人の流れ
- ・ 予測不能な事態

詳細① AIと非AIの流れ

合理化が進むほど、人間・フィジカルな価値が問い直される

テクノロジーが進んでも
人だからこそ価値はなくなるらない!

きっかけ

社会の変化・外部要因

1 コロナ禍



感染拡大により
人の移動や対面活動が制限

2 AI・ITの進展



生成AIなどの技術進化により
仕事や生活のあり方が大きく変化

3 オンライン化の進展



テレワーク・オンライン会議・
オンラインサービスの普及

4 働き方改革・ 価値観の変化

柔軟な働き方やライフスタイル、
幸せに対する価値観の多様化



結果

現れている変化・影響

人口減少



少子高齢化により
人口が減少

仕事の中身や 求められる能力の変化



定型業務の自動化が進み、
より創造的・対人の能力
が求められる

教育の変化



AI時代に対応した
学びやスキルが求められる

担い手不足・外国人材



労働力の不足を補うため
外国人材の活用が進む

子ども・次世代の育成



これからの社会を支える
子ども・次世代の育成が重要

地域単位での施策設計 (八尾空港)



地域の特性を活かした
施策設計が求められる
(八尾空港など)

今後の対応・問い

これから取り組むべきこと・10年後の論点



AI時代の人間の価値とは何か



人間にしかできない仕事とは何か



感情・情緒・文化・創造性を
どう生かすか



セレンディピティやリアルな価値を
どう残すか



便利さとアナログをどう両立するか



これから何を価値として
売るのか

詳細② 人(働き方・教育)の流れ

人口減少が進むなか、誰が担い、どう育ち、どう働くか

人が育ち、学び、
活躍できる八尾の未来へ!

きっかけ

人口構造・社会の変化

人口減少・
少子高齢化

生産年齢人口や
子どもの数が減少



働き手不足

地域産業の
担い手が不足



働き方改革・
価値観の変化

働き方や仕事観が
多様化



教育環境の変化

学校・地域ごとの
違いが広がる



結果

現れている変化・影響

外国人材への期待

労働力不足を補う
担い手として注目



働き方の多様化

フリーランス・副業・
高齢者就業などが
広がる



教育の個別化

学び方や教育環境に
違いが見えやすくなる



地域差の顕在化

校区や地域によって
状況が異なる



次世代育成の重要性

子ども・若者の創造性
や学びが重要



地域特性を活かす視点

八尾空港など
地域資源の活用可能性



今後の対応・問い

これから取り組むべきこと・10年後の論点



誰が八尾の産業を
担うのか



多様な人材が働ける場を
どうデザインするか?



子ども・次世代の育ちを
どう支えるか



教育と産業を
どうつなげるか



地域単位でどんな施策を
設計するか



八尾らしい人材育成・
産学連携をどう進めるか

予測できない時代
だからこそ、
しなやかに備え、
乗り越える地域産業へ!

詳細③ 予測不能な事象(BCP)の流れ

外部環境の変化に、産業はどう備え、どう適応するか

変化をチャンスに
八尾の未来へ!



1 きっかけ 外部環境の変化



コロナ禍

- ・社会活動の制限
- ・消費行動の変化



円安・物価高

- ・円安の進行
- ・エネルギー・原材料の高騰
- ・輸入コストの増加



グローバル化の変化

- ・国際競争の激化
- ・サプライチェーンの再編
- ・各国の政策・地政学リスク



気候変動

- ・気温の上昇・異常気象
- ・自然環境の変化
- ・生態系への影響

2 結果

現れている変化・影響



コスト増・価格転嫁の難しさ

- ・原材料・エネルギーコストの上昇
- ・価格転嫁が追いつかない



物価や資材価格はノーマルに戻らない?

- ・高止まりが継続
- ・不確実性が増している



異常な暑さ・自然環境の変化

- ・猛暑・豪雨・災害の増加
- ・作物の生育環境の変化



生き物の行動変化

- ・生態系の変化
- ・病害虫の増加
- ・漁獲量の変動



商売や農業への影響

- ・農作物の収量・品質の変化
- ・商売・観光への影響
- ・地域産業への打撃



日本の立ち位置への危機感

- ・国際的な競争力の低下
- ・市場の変化、ルールの変化



日本の技術力だけでは成果につながりにくい

- ・価格競争だけでは勝てない
- ・付加価値・ブランド力の重要性



日本独自のものは海外で価値を持つ

- ・高い技術力・品質・デザイン
- ・伝統文化・ものづくりの強み
- ・海外市場での需要・ニッチ・高付加価値の可能性

3 今後の対応・問い

これから取り組むべきこと・10年後の論点



世界に売る八尾の価値

- ・海外市場への展開・プロモーション
- ・「八尾ブランド」の確立



八尾の技術・文化をどう価値に変えるか

- ・異業種連携・新たなビジネスモデル
- ・人材育成・発信力の強化



伝統文化をビジネスとして捉え直せるか

- ・文化資源の活用と収益化
- ・次世代への継承と観光・産業の融合



変化に耐える地域産業・BCP

- ・サプライチェーンの強化
- ・リスク分散・事業継続計画



気候変動への適応力

- ・気候変動に強い産業・まちの構築
- ・環境と共生した地域づくり



農業や稲作と気候変動をどう折り合わせるか

- ・品種改良・栽培方法の見直し
- ・安定生産と農業の持続性



世界情勢の変化にどう適応するか

- ・国際ルール・市場の変化への対応
- ・新たなパートナーシップの構築

この流れから見えること

1 外部環境は元に戻る前提ではなく、新たな常態として受け止める。

2 適応力とBCPは、これからの産業の基盤になる。

3 危機感だけでなく、変化を機会・成長に変える視点が重要。

変化の先に、八尾の可能性を!

(4) グループワーク



八尾市の10年後の「ありたき未来を考える」

ご自身の分野・フィールドの10年後は、
どうなりそう？どうなってほしい？

先が読めない時代。
不安なこと、備えておきたいことは？

不測の事態

プレイヤー

	AI デジタル	人口減少 人手不足	物価・原材料 高騰	災害・気候変 動・BCP	為替変動
暮らす人 市民、子育て世帯、高齢者					
働く人 従業員、若者、外国人材					
事業を営む人 経営者、商店、製造業、農業者					
支える人 学校・大学・行政・支援機関					

(5) 検討部会への付託内容の共有・検討部会委員の選任



次回

検討部会

10月26日（月） 18時30分～
@セミナー・多目的室

資料関連

令和3年以前の産業振興会議→

https://warp.ndl.go.jp/web/20230209112530/https://www.city.yao.osaka.jp/soshiki/37-1-0-0-0_13.html



令和4年から8年の産業振興会議→

https://www.city.yao.osaka.jp/shisei/iinnkai_shingikai_kansa/1014685/1008886/index.html



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City